

住宅を対象とした平成24年中 侵入盗の実態

愛知県版

住宅を対象とした侵入盗の件数は
愛知県が全国ワースト1位！

1 愛知県の被害件数は全国ワースト1位

実態編

愛知県では、刑法犯総数が前年より大幅減少している中、住宅を対象とした侵入盗の件数は増加し、平成19年から平成24年まで6年連続で全国ワースト1位という危機的な状況にあります。

住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
7,205件	5,465件	1,449件	291件
前年比+1.8%	前年比+16.0%	前年比-30.9%	前年比+8.6%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つをいう
 空き巣・・・留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口
 忍込み・・・夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口
 居空き・・・入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口

2 名古屋市の被害件数も全国ワースト1位

さらに、名古屋市も、刑法犯総数や主要罪種が前年より減少している中、住宅を対象とした侵入盗の件数は増加し、政令指定都市の中で、「ワースト1位」という厳しい状況です。

名古屋市の住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
2,086件	1,770件	224件	92件
前年比+12.3%	前年比+19.9%	前年比-26.3%	前年比+17.9%
ワースト1位 (政令指定都市内)	ワースト1位 (政令指定都市内)	ワースト2位 (政令指定都市内)	ワースト3位 (政令指定都市内)

3 市区町村別件数と犯罪率ランキング

あなたの住む市区町村の犯罪発生状況はどうでしょうか〔多発上位50市区町村まで（名古屋市を除く）〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	373	2.69
2位	春日井市	354	2.91
3位	岡崎市	338	2.42
4位	安城市	294	4.30
5位	豊橋市	285	2.01
6位	豊田市	276	1.68
7位	刈谷市	263	4.45
8位	中川区	242	2.60
9位	西尾市	222	3.95
10位	緑区	206	2.28
11位	守山区	204	3.00
12位	稲沢市	191	3.92
13位	名東区	166	2.30

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
13位	北区	166	2.25
15位	豊川市	158	2.42
16位	天白区	156	2.20
17位	中村区	137	1.98
18位	あま市	133	4.18
19位	江南市	132	3.61
20位	小牧市	129	2.27
20位	千種区	129	1.59
22位	西区	126	1.89
23位	大府市	121	3.50
24位	昭和区	119	2.22
25位	尾張旭市	115	3.64
26位	日進市	106	3.05

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
26位	南区	106	1.74
28位	北名古屋市	103	3.15
29位	知立市	90	3.11
30位	清須市	87	3.42
31位	東海市	84	1.89
32位	犬山市	81	2.91
32位	瀬戸市	81	1.61
34位	瑞穂区	78	1.63
35位	東郷町	73	4.78
35位	中区	73	1.45
37位	半田市	72	1.58
38位	みよし市	71	3.29
38位	東区	71	1.82

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
40位	長久手市	69	3.00
41位	豊明市	66	2.45
41位	港区	66	1.13
43位	岩倉市	62	3.27
44位	愛西市	60	2.85
45位	津島市	58	2.44
46位	扶桑町	57	4.57
47位	碧南市	47	1.83
48位	東浦町	46	2.51
49位	高浜市	45	2.74
49位	知多市	45	1.42

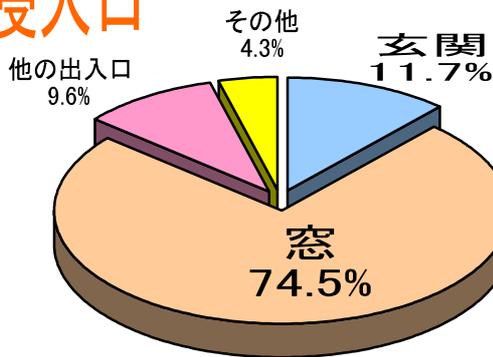
犯罪率：1,000世帯あたりの件数
平成24年12月1日現在の世帯数をもとに算出

空き巣

平成24年中の状況及び特徴

- ・多くの犯罪が減少傾向の中、「増加傾向」にあります。
- ・発生時間は季節により若干異なりますが、年間を通じ、昼過ぎの時間帯（午後1時～3時）での被害が多くなっています。
- ・パール等で玄関ドアや窓のクレセント錠付近をこじ破るなど大胆な犯行も目立ちます。

侵入口



窓からの侵入が7割以上で、次いで玄関の順となっています。面格子も手で簡単に破壊されるものもあることから、過信せず施錠をしっかりとしましょう。

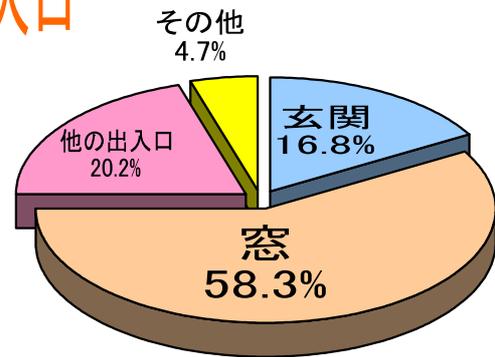


忍込み・居空き

平成24年中の状況及び特徴

- ・昨年と比べ「忍込み」は大幅に減少しましたが、「居空き」は増加しました。
- ・「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展するおそれがあるため、非常に危険です。

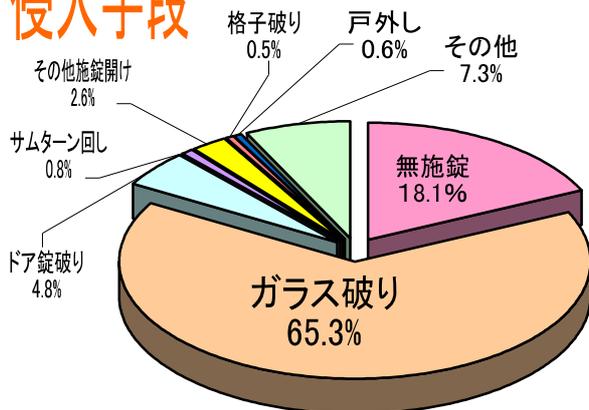
侵入口



窓からの侵入が6割近くとなっています。また、勝手口ドアの網戸を破られて侵入される被害もあることから、確実な施錠に心がけましょう。



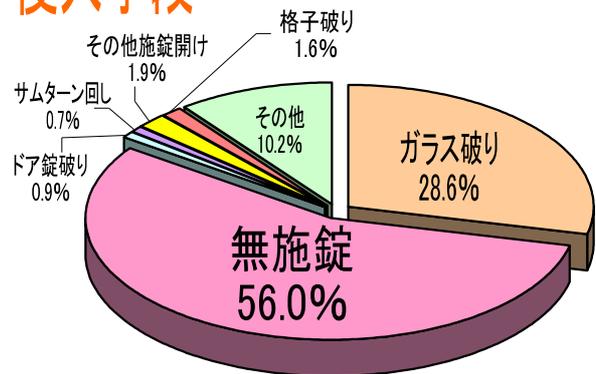
侵入手段



窓を割り、クレセント錠を外して侵入する「ガラス破り」が最も多く、次いで「無施錠」の順となっています。窓ガラスの強化の他、補助錠などによるツーロック対策が有効です。



侵入手段



無施錠箇所からの侵入が5割以上と圧倒的に多くなっています。在宅中でも不在の部屋には戸締まりをし、就寝前の戸締りの確認を習慣づけましょう。



5 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

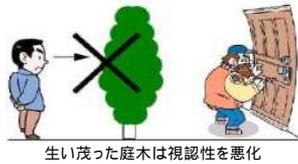
 <p>時間</p> <p>侵入までに時間のかかる建物部品を！</p> 	 <p>光</p> <p>家の周りを明るく！</p> 	 <p>音</p> <p>警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！</p> 	 <p>地域の目</p> <p>住民同士の連携、不審者への声掛けを！</p> 
---	--	---	--

6 防犯環境設計

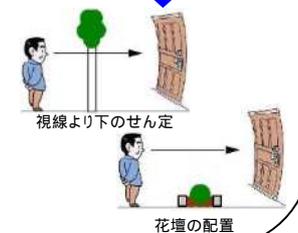
「防犯環境設計」とは、犯罪を行おうとしている者に犯罪を「やりにくい」「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。



センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。



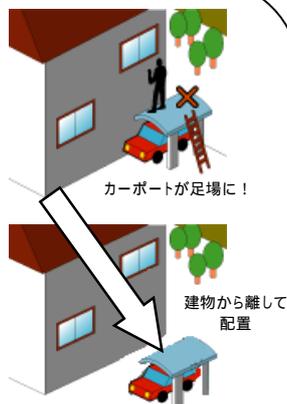
領域性の確保

住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けない環境を形成する。



地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。

カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。



接近の制御

塀、カーポート、物置を建物から離して設置し、高窓、2階への足場に利用させない。



「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。

補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

7 具体的な防犯対策



ドロボウと闘う『CP建物部品』って何？



CPマーク

警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品 = CP (Crime Prevention) 建物部品」として公表しました。

なぜ5分？ → ドロボウがあきらめる時間



侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。

